2017 walk
04

PDF Photo アルバム

早春　柔らかい日差しが差し込む里山の林の中を歩く　　2017.3.22

白川の里から藍那・星和台へ　白川・藍那古道(徳川道)

気になっていた白川の里から北へ藍那・しあわせの村へ抜ける道

◆ 白川の里の石抱え大カヤの巨木のところで東の鵯越へ向かう側が未開通となっている県道 16 号線

◆ 北の藍那へ向かう道も幾つもの里山を抜けてゆく太陽と緑の自然歩道・古道「藍那古道・徳川道」

白川の里　集落の真ん中　石抱きケヤキの巨樹前　太陽の道・藍那古道が左手へ抜けてゆく

県道神戸・三木線(県道22号線)　白川峠北　白川集落への入口　よく判らぬ標識　2017.3.22.

県道22号・県道16号そして幻の古道徳川道・太陽と緑の道　が交錯する白川峠北　白川の里

県道16号線
明石・神戸・宝塚線
- 神戸市須磨区白川 - 神戸市北区山田町藍那(しあわせの村交差点)間が不通
- 兵庫県道22号神戸三木線と布施畑交差点・白川付近 間が重複

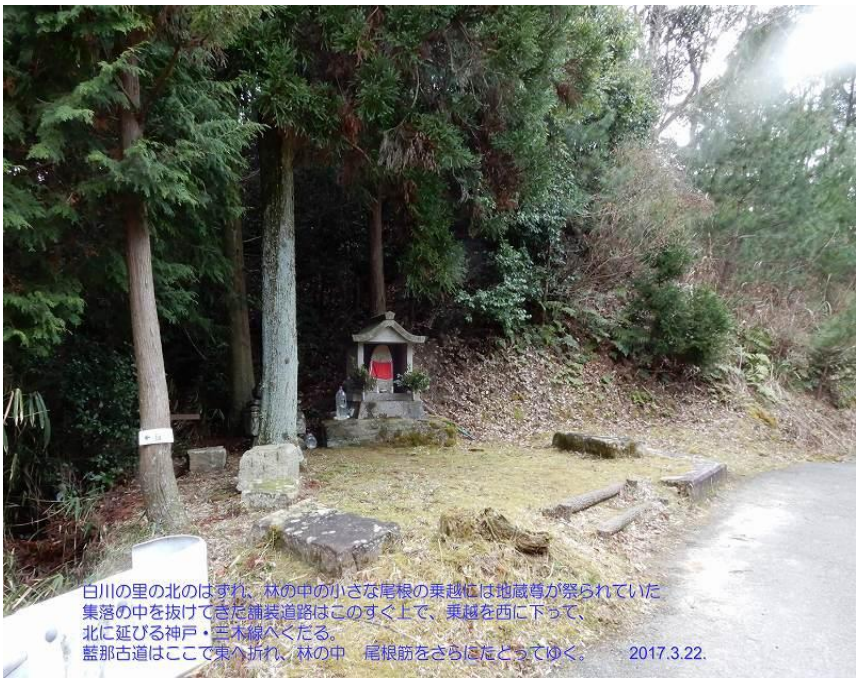
県道22号線
神戸三木線
県道神戸・三木線　板宿から北へ妙法寺川を遡り、白川峠を越えて　さらに北へ木見峠を越えて　幹を結ぶ

幕末の幻の街道
徳川道
徳川道は江戸時代の街道だった西国街道（山陽道）の迂回路として、幕末に急遽建設された幻の街道で、神戸の石屋川から六甲山に入り、明石の大蔵谷までの約34km。
完成は1867年12月。翌1868年は明治元年で、使用されることもほとんどないまま、歴史に消えてしまった。た　　。
- 白川の集落から藍那のしあわせの村入口まで　かつての徳川道・太陽と緑の自然歩道
- [illegible]県道16号と徳川道はほぼ重複

白川峠を北に下る坂の途中　白川集落への入口に良くわからぬ県道16・県道22の街道標識が上下に掲げられている。
内容はわかるのですが、土地勘がない人には　ちんぷんかんぷん。ずっと不思議に思ってきた標識である。
県道16号は左側から白川峠にかかるこの白川の集落の入口で、奥へ折れて白川の集落に入り、細い生活道路となって石抱きカヤの巨樹のところでストップ。藍那のしあわせの村入口までが未開通。そして、しあわせの村からまた　県道16号となって、北の小部峠へ。　一方、徳川道も左側の布施畑から集落に入り、石抱きカヤの巨樹から北へ里山の尾根筋を藍那・しあわせの村から小部峠へと抜けてゆく。　ややこしい場所に、この街道標識。　ここが古くからの交通の要衝の象徴か・・・・・

- 白川の里から、藍那・星和台へ　白川・藍那古道(徳川道)へ -
白川の里、石抱きカヤの前から左に折れて　里山の谷筋の中を
北の藍那へ古道白川・藍那道(徳川道)が続く　2017.3.22.

白川の里の北のはずれ、藍那古道は右へ折れ、緑に包まれた尾根筋をさらに北へ
もう、ここからは人家はなく、小さな里山の暗い林の中へ分け入る　2017.3.22.
この道はまだ、この辺の生活道路　ところどころにアスファルト道がのこる

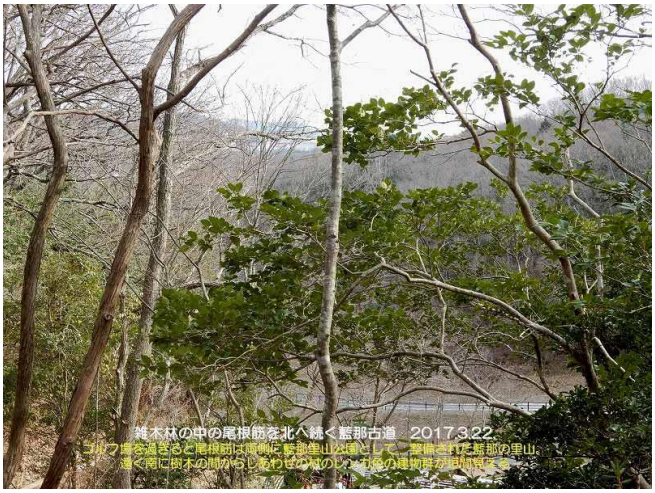

白川の里の北のはずれ、林の中の小さな尾根の乗越には地蔵尊が祭られていた
集落の中を抜けてきた舗装道路はこのすぐ上で、乗越を西に下って、
北に延びる神戸・三木線へくだる。
藍那古道はここで東へ折れ、林の中　尾根筋をさらにたどってゆく。　2017.3.22.

藍那IC
藍那里山公園
星和台
ゴルフ場
阪神高速白SA
◎現在地
白川の里
北のはずれ
しあわせの村
白川の里

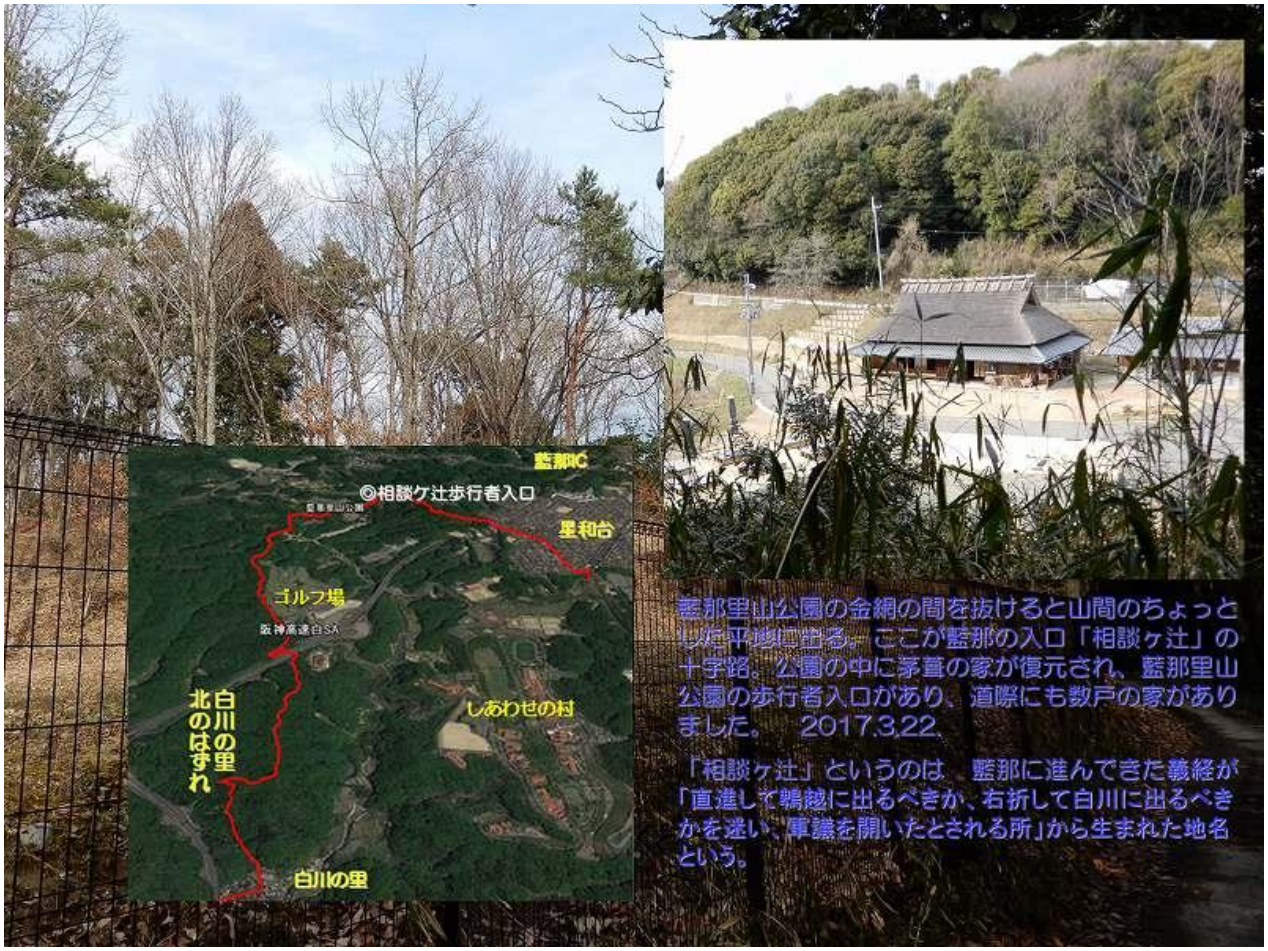
林の中を抜けるとパッと視界が開け、
山あいを阪神高速北神戸線が東西に更けてゆく　2017.3.23.
中央奥に高速道路を越え里山を登ってゆく道が見えている

高速道路を北に越えて　雑木林の中の尾根筋を藍那古道が続く　2017.3.22.
日差しが差し込む明るい早春の雑木林　冬から春へ
芽吹き始めた淡い若葉の緑が林の輝きを増して美しい　新しい発見です

雑木林の中の尾根筋を北へ続く藍那古道　2017.3.22
樹木の間からはこの尾根筋の下に広がるゴルフ場が遠望できる



雑木林の中の尾根筋を北へ続く藍那古道　2017.3.22
ゴルフ場を過ぎると尾根筋は両側に藍那里山公園として、整備された藍那の里山。
遠く南に樹木の間からしあわせの村のシンボル的の建物群が眺望される



藍那里山公園の金網の間を抜けると山間のちょっと山麓平坦地出る。ここが藍那の入口「相談ヶ辻」の十字路。公園の中に茅葺の家が復元され、藍那里山公園の歩行者入口があり、道際にも数戸の家がありました。　2017.3.22

「相談ヶ辻」というのは　藍那に進んできた義経が「直進して鵯越に出るべきか、右折して白川に出るべきかを迷い、軍議を開いたとされる所」から生まれた地名という。

木漏れ日に美しく輝く早春の里山　雑木林の中を行く藍那古道で　2017.3.22

早春の里山　太陽と緑の道(白川・藍那　徳川道)で　2017.3.22.

藍那里山公園の縁を通り、星和台の住宅地を出て南に　2017.3.22.

藍那里山公園の縁に沿って　坂道を上がると星和台の住宅地の中に。
南に見えるしあわせの村の山際まで進んで 、左に折れると鵯越から星和台を抜けて 鈴蘭台へ結ぶ県道16号にでる。
徳川道は北この県道を行くのですが、私は南へ鵯越から白川へ戻る。すぐ南の県道沿いがしあわせの村の入口田である。

◎幻のハイウエイ
県道16号線(明石ー神戸-六甲山上ー宝塚)
西の白川峠から白川の集落の中に入って、道が途絶えてしまっている県道16号線。
この鵯越から復活して、北へ進み、この星和台・鈴蘭台を東の小部峠出て、六甲の尾根筋を登って、六甲山上から　東の最終点　宝塚へ下ってゆく幻のハイウェイといわれる道である。

早春　柔らかい日差しが差し込む里山の林の中を歩く　2017.3.22.

－　白川から藍野・星和台へ　白川・藍那古道(徳川道)　－

気になっていた白川の里から北へ藍那・しあわせの村へ抜ける道

◆白川の里の右拘え大カヤの巨木のところで東の鴨越へ向かう側が未開通となっている県道16号線

◆北の藍那へ向かう道も幾つもの里山を抜けてゆく太陽と緑の自然歩道・古道「藍那古道・徳川道」

近くの里山歩きの中で、早春　芽吹きを迎えた林の美しさに気が付いて
今日　白川の里の北に広がる藍那古道沿いの里山を歩きました。
私には初めての道　芽吹き始めた雑木林の美しさにびっくり。
また　よく知る市街化された周辺地域(白川・ひよどり台・星和台・鈴蘭台・藍那)に
これらのニュータウンに囲まれて　雑木林に包まれた里山が連なっていること
初めて知りました。

うれしいCountry Roadの道
今度は里山公園の中に入って　里山に囲まれた山里の風色を眺めようと思っています。

鴨越　山麓バイパスのバスの中で

2017.3.22.　Mitsu Nakanishi